

ABC判定区分	判定説明	判定区分
A群	ピロリ菌感染・胃粘膜萎縮はいずれも否定的で、 胃がんになる危険性が比較的低いと考えられています。	A1
B群	ピロリ菌に感染している疑いがあります。胃粘膜の萎縮は軽度ですが、 胃潰瘍・胃がんになる危険性を否定できないので、ピロリ菌を除菌し定期的に画像検 査等を実施することが望ましいです。	G2
C群	ピロリ菌感染および萎縮性胃炎があります。胃がんになる危険性があるので、 ピロリ菌を除菌し定期的に内視鏡検査を実施することが望ましいです。	G2
D群	高度の胃粘膜萎縮がありピロリ菌が住めない状態です。 胃がんになる危険性が相当に高いので、年1回以上、内視鏡検査を行い注意深く経過を 観察する必要があります。	G2